

2022年6月2日

北神・三田地域の急性期医療確保方策に関する 共同記者会見について

令和4年3月25日に神戸市長及び三田市長に提出された北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会の報告書を踏まえ、神戸市・三田市・済生会兵庫県病院の三者で協議を行った結果、三田市民病院と済生会兵庫県病院が再編統合して新病院を整備することにより、北神・三田地域の急性期医療の充実を目指すこととしました。

令和4年6月2日にザ・セレクトンプレミア神戸三田ホテルにて神戸市・三田市・済生会兵庫県病院の三者でその内容についての「北神・三田地域の急性期医療確保方策」を発表いたしました。

1. 三者の役割分担（整備・運営主体）

(1) 三田市 : 再編統合病院の設置者

(2) 済生会兵庫県病院 : 再編統合病院の運営者

(三田市から社会福祉法人恩賜財団済生会支部兵庫県済生会への指定管理を予定)

(3) 神戸市 : 北神地域の急性期医療を確保するための財政支援

2. 病床規模

400床～450床

3. 整備場所

三田市民病院と済生会兵庫県病院の中間地点（神戸市域）付近

4. 整備費、運営費の負担

(1) 整備費

① 三田市

整備費の2/3を負担します。ただし、再編・ネットワーク化に関する病院事業債（特別分）の措置により、整備費全体の約40%について普通交付税措置予定です。

② 社会福祉法人恩賜財団済生会支部兵庫県済生会

再編統合新病院の整備費の1/3を負担します。

③ 神戸市

再編統合新病院の用地を確保します。また、三田市の実質負担額のうち、救急医療

及び周産期医療に係る病床分を対象に、両病院の入院患者総数に占める神戸市民の入院患者の割合を支援します。

(2) 運営費

社会福祉法人恩賜財団済生会支部兵庫県済生会が負担します。ただし、三田市は、救急医療や周産期医療などの政策医療等について、社会福祉法人恩賜財団済生会支部兵庫県済生会に対する指定管理料として負担します。

神戸市は、救急医療及び周産期医療に係る収支不足額相当額を対象に、前年の入院患者数に占める神戸市民の入院患者の割合を社会福祉法人恩賜財団済生会支部兵庫県済生会に対して支援します。

5. 今後のスケジュール（予定）

令和4年度～6年度	統合病院用地調査・用地確保、基本計画策定
令和7年度～	設計・工事
令和10年度	新病院開院